

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2017-529868(P2017-529868A)

【公表日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-518842(P2017-518842)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 N 7/02 (2006.01)

C 12 N 7/04 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 N 7/02

C 12 N 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月22日(2019.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

【図1A】lacZ M15およびエンドライシン遺伝子を含有するプラスミドの構築を示す概略図(その1)である。

【図1B】lacZ M15およびエンドライシン遺伝子を含有するプラスミドの構築を示す概略図(その2)である。

【図2A】SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cを付加するようにファージを遺伝子改変するため、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図(その1)である。

【図2B】SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cを付加するようにファージを遺伝子改変するため、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図(その2)である。

【図2C】SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cを付加するようにファージを遺伝子改変するため、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図(その3)である。

【図2D】SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cを付加するようにファージを遺伝子改変するため、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図(その4)である。

【図3A】組み換え型ファージを選択する手段としてHORDSを使用して、組み換えによって、SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cがファージに付加されているファージの產生を示す概略図(その1)である。

【図3B】組み換え型ファージを選択する手段としてHORDSを使用して、組み換えによって、SASP-CまたはlacZマーカーに加えてSASP-Cがファージに付加されているファージの產生を示す概略図(その2)である。

【図4A】エンドライシン遺伝子をSASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換するようにファージを遺伝子改変するため、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図(その1)である。

【図4B】エンドライシン遺伝子をSASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換するようにファージを遺伝子改変するための、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図（その2）である。

【図4C】エンドライシン遺伝子をSASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換するようにファージを遺伝子改変するための、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図（その3）である。

【図4D】エンドライシン遺伝子をSASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換するようにファージを遺伝子改変するための、置換された尾纖維部分を有するプラスミドの構築を示す概略図（その4）である。

【図5A】組み換え型ファージを選択する手段としてHORDSを使用して、組み換えによって、エンドライシン遺伝子が欠失されていて、SASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換されているファージの产生を示す概略図（その1）である。

【図5B】組み換え型ファージを選択する手段としてHORDSを使用して、組み換えによって、エンドライシン遺伝子が欠失されていて、SASP-CまたはSASP-CおよびlacZマーカーに置換されているファージの产生を示す概略図（その2）である。

【図6A】関連するファージの尾纖維遺伝子のマルチプル配列アライメント（その1）を示す。

【図6B】関連するファージの尾纖維遺伝子のマルチプル配列アライメント（その2）を示す。

【図6C】関連するファージの尾纖維遺伝子のマルチプル配列アライメント（その3）を示す。

【図6D】関連するファージの尾纖維遺伝子のマルチプル配列アライメント（その4）を示す。

【図6E】関連するファージの尾纖維遺伝子のマルチプル配列アライメント（その5）を示す。